



エコアクション21 環境活動レポート

(取組期間: 2022年5月～2023年4月)

2023年10月

有限会社 柳井コレクト・サービス

改訂

令和 5年 10月 16日

印

～目 次～

1. 会社概要
2. 環境方針
3. 組織図・役割
4. 事業内容・許可内容
5. 施設
6. 処理実績・料金
7. 環境負荷の状況
8. 環境目標並びに取り組みの結果
9. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価
10. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
11. 全体の評価と見直し
12. 中期環境目標



会 社 概 要

■ 社 名 有限会社 柳井コレクト・サービス

■ 代 表 者 代表取締役 逢坂 日出夫

■ 所 在 地 山口県柳井市南浜四丁目1番23号

■ 環境管理責任者 氏 名 高津 弘治
連 絡 先 TEL:0820-22-9430 FAX:0820-22-2032

■ 法人設立年月日 昭和55年11月5日

■ 資 本 金 500万円

■ 事業の規模

活動規模	単位	2022年度
総売上高	百万円	777
内建設業売上高	百万円	277
解体件数	件	129
従業員数	人	27
床面積	m ²	757.08
敷地面積	m ²	2,003

環境経営方針

理 念

山に囲まれ、漁業資源豊富な瀬戸内海に面した場所で、廃棄物の処理業を営む 有限会社 柳井コレクト・サービス は、地球の環境保全を適切に推進するために、エコアクション21に基づく環境経営システムを確立し、地域社会に貢献できる事業を行政機関と連携して、取り組めます。

行動指針

1. 環境経営に積極的に取り組み、社内電力、化石燃料、上水の使用を抑え、環境負荷の低減と無駄な経費の出費の削減に取り組みます。
2. 環境への取組みとして、特に次の事項に取り組みます。
 - ① 地球温暖化防止のための行動として、節電、エコドライブ、節水、紙類の削減をし、経費削減に努めます。
 - ② 廃棄物削減とリサイクル化を促進し利益を向上させるように努めます。
 - ③ 積極的にグリーン購入の推進に努めます。
 - ④ 整理・整頓・清潔・清掃・しつけを全社員が取り組み、環境経営を向上させるよう努めます。
 - ⑤ 会社周辺及び地域の美化に積極的に全社員で取組み、地域に貢献できるよう努めます。
3. 環境に関する法律・規則、交通規則を遵守します。
4. 環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

2009年6月9日

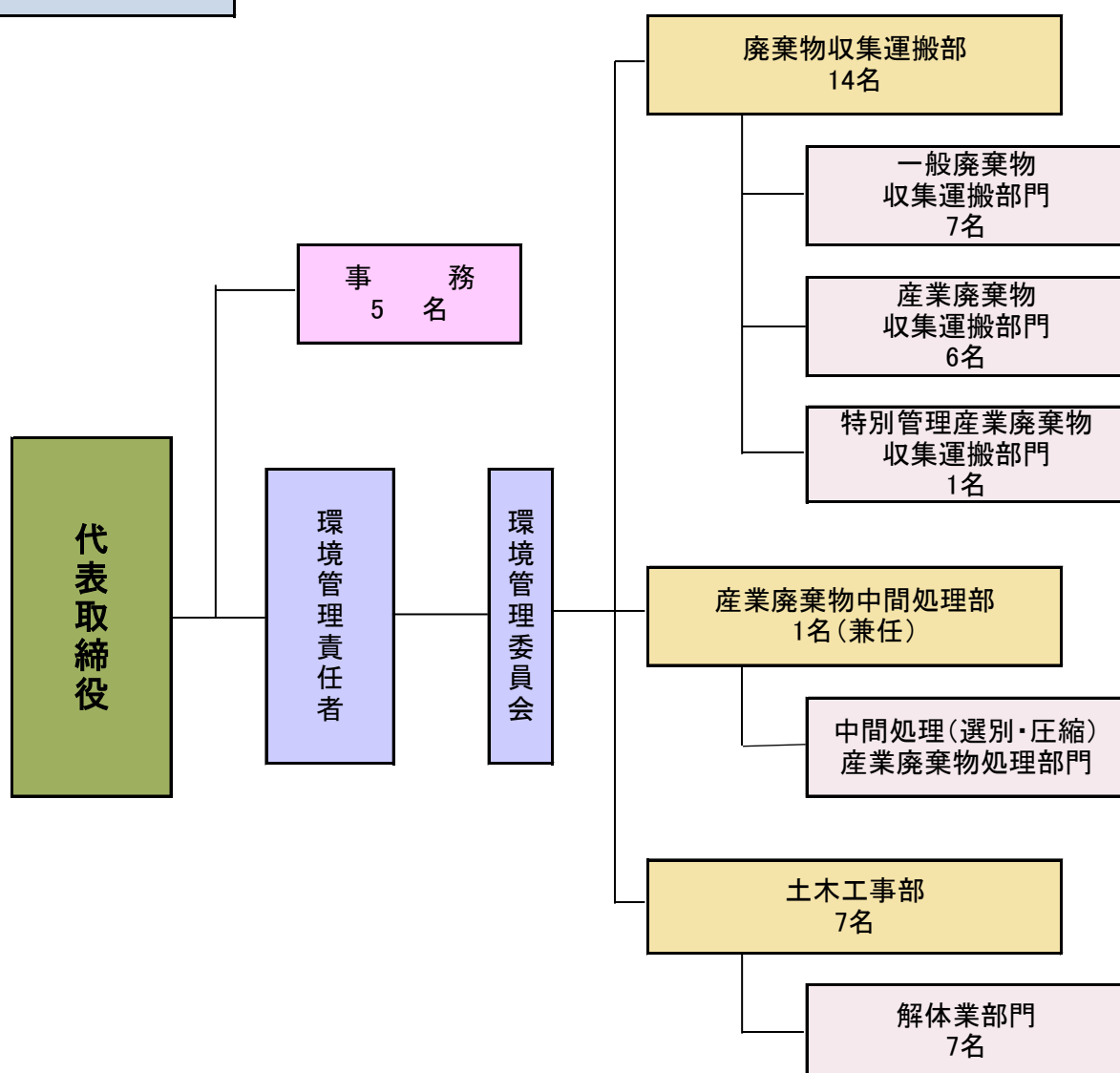
有限会社 柳井コレクト・サービス

取締役 逢坂 日出夫

最終改訂

2016年4月1日

■ 組 織 図
■ 管 理 体 制



環境経営システムに関する役割・責任・権限	
役 職	役割・責任・権限
代表取締役	全体統括・環境方針及び環境目標設定・全体の評価と見直し 資金の用意・実施体制の構築
環境管理責任者	環境経営システムの構築・実施・管理・代表者への報告 各部門担当者との連絡 環境目標達成の為の施策・訓練・教育計画の作成
各部門担当者	環境目標達成の為の計画の実施の責任者 従業員への周知
事務局	全体事務・文書作成・データ管理

■ 事業内容

※一般廃棄物収集運搬業
 ※産業廃棄物収集運搬業
 ※特別管理産業廃棄物収集運搬業
 ※産業廃棄物処理業(中間処理)
 ※建設業(とび・土工工事業 土木工事業 解体工事業)

■ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 有限会社 柳井コレクトサービス
 事務所 山口県柳井市南浜4丁目1番23号
 活動 一般廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物収集運搬業
 特別管理産業廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物処理業(中間処理)
 建設業(とび・土工工事業 土木工事業 解体工事業)

■ 許可内容

《 一般廃棄物収集運搬業 》

許可番号	指令柳生環第8号	許可年月日	令和4年3月16日
		許可の有効年月日	令和6年3月31日
事業の範囲	一般廃棄物	事業の区域	柳井市全域
事業計画	柳井市内全域の一般廃棄物を収集し、焼却場と不燃物処理場に、それぞれ運搬する。		

《 産業廃棄物収集運搬業 》

許可番号	第 03512003846 号	許可年月日	平成30年9月20日
		許可の有効年月日	令和7年9月19日
事業の範囲	産業廃棄物の種類 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、動植物性残渣、銧さい、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類、ばいじん(これらは、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等であるものを含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)以上16種類 事業の区分 積替え又は保管を含む		
事業計画	主に、建設現場・工場などから排出される産業廃棄物を収集し、処分場に搬入する。		

《 特別管理産業廃棄物収集運搬業 》

許可番号	第 03562003846 号	許可年月日	令和4年6月23日
		許可の有効年月日	令和11年6月22日
事業の範囲	特別管理産業廃棄物の種類 廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性廃棄物、廃石綿等、燃え殻、汚泥、ばいじん以上8種類 事業の区分 積替え又は保管を含む		
事業計画	主に、医療機関から排出される特別管理産業廃棄物を収集し、処分場に搬入する。		

《 産業廃棄物処分業 》

許可番号	第 03522003846 号	許可年月日	平成30年12月 1日
		許可の有効年月日	令和5年11月30日
事業の範囲	事業の区分 中間処理(圧縮、選別) 産業廃棄物の種類 圧縮： 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、紙くず、木くず、繊維くず 以上6種類 選別： 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類 以上7種類		
事業計画	解体現場や工事現場から発生した廃棄物の処理を受託し、選別及び圧縮処理を行いリサイクル業者や中間処理業者、最終処分業者へ搬入する。		

《 建設業 》

許可番号	般—5 第 17632 号	許可年月日	令和 5年 8月28日
		許可の有効年月日	令和 10年 8月27日
事業の範囲	とび・土工工事業 ・土木工事業 ・解体工事業		

■ 施 設

《 運搬車両 》

車両の種類	台数	車両の種類	台数
集塵車	4t車 2台 3t車 5台 2t車 2台	脱着式コンテナ車	10t車 1台 8t車 1台 4t車 2台 3t車 5台
ダンプ	10t車 1台 4t車 1台 3t車 1台 2t車 1台	ユニック車	7.5t車 1台 2t車 1台
軽ダンプ・軽トラック車	3台	ドライバン	3t車 1台 1t車 1台
軽バン	3台	リフト	2.5t 1台 3.0t 1台
		バックフォー	0.25 2台 0.20 3台

《 積替保管施設 》

所 在 地 山口県柳井市南浜四丁目675番地5

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。）・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、ゴムくず、がれき類(これらは、石綿含有産業廃棄物であるものを含み、水銀特別管理産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)以上5種類
面積	460.3m ²
保管上限	488.35m ³
積み上げ高さ	3.1m

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。）・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず・繊維くず、ばいじん(これらは、水銀特別管理産業廃棄物、水銀含有ばいじん等であるものを含み、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)以上12種類
面積	130m ²
保管上限	19.34474m ³
積み上げ高さ	屋内にて保管を行う

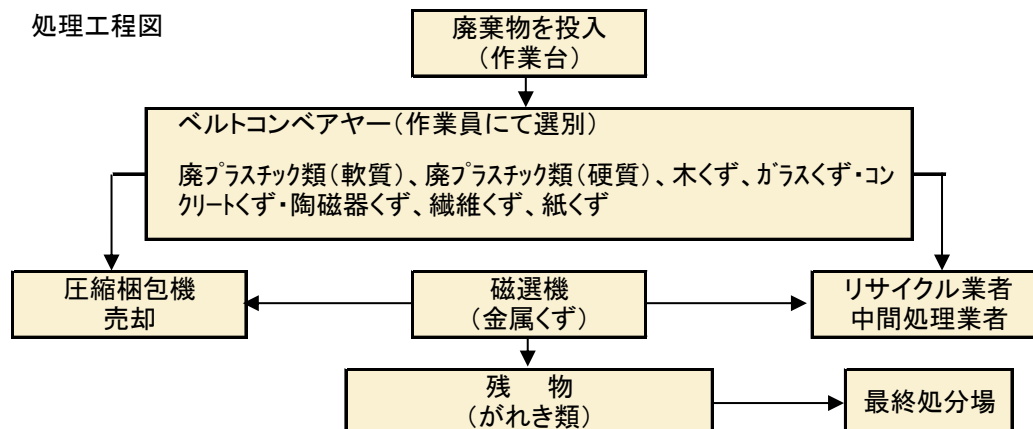
特別管理産業廃棄物の種類	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等、燃え殻、汚泥、ばいじん 以上7種類
面積	21.6m ²
保管上限	43.2m ³
積み上げ高さ	2m

特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物
面積	12.96m ²
保管上限	30m ³
積み上げ高さ	2.36m

《 処理施設 》

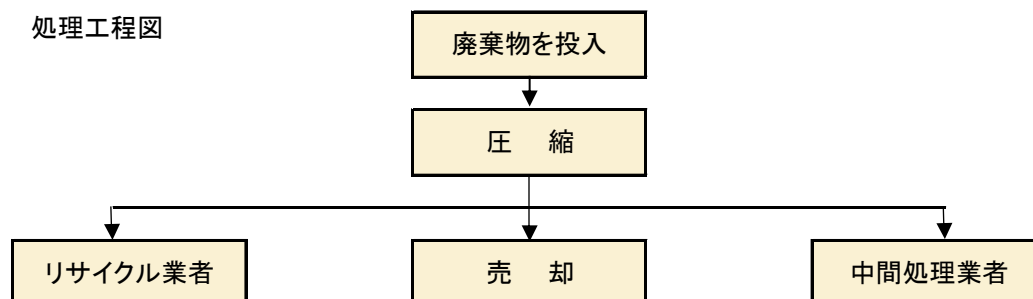
種類	中間処理(選別)
廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)・陶磁器くず、がれき類
施設	ベルトコンベヤー
処理方法	作業テーブルよりベルトコンベヤーに進み選別
処理能力	15.08t/日(8時間)

処理工程図



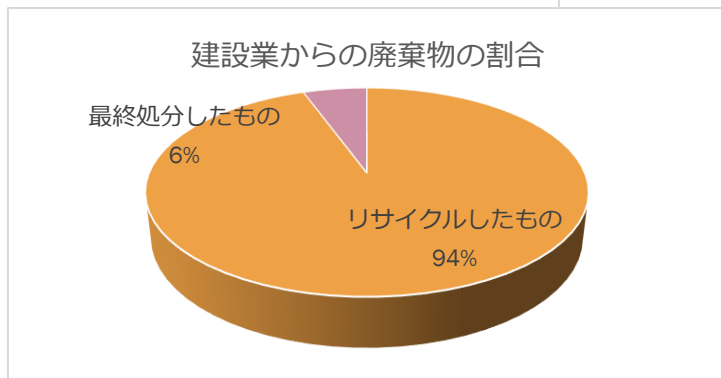
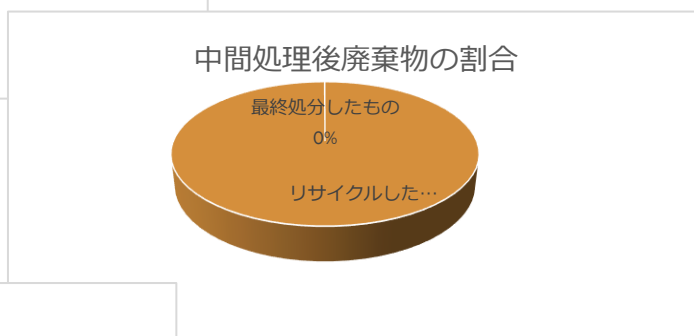
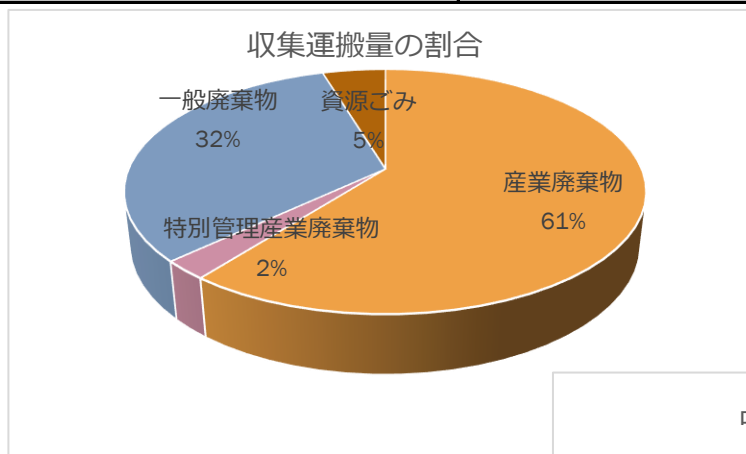
種類	中間処理(圧縮)
廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)・陶磁器くず、がれき類
施設	縦型圧縮梱包機
処理方法	プレッシャーによりプレス盤が下がり圧縮
処理能力	4.95t/日(8時間)

処理工程図



■ 処理実績

受託した廃棄物の収集運搬量 12,226.82 t	産業廃棄物収集運搬量	7,401.09 t
	特別管理産業廃棄物収集運搬量	303.73 t
	一般廃棄物収集運搬量	3,954.00 t
	資源ごみ	568 t
受託した廃棄物の中間処理量 87.41 t	受託した廃棄物のリサイクル量	87.34 t
	受託した廃棄物のリサイクル率	99.92 %
建設業からの廃棄物の排出量 5,171.22 t	排出した廃棄物のリサイクル量	4,832.00 t
	排出した廃棄物のリサイクル率	93.44 %



■ 処理料金

※ 収集運搬料金
※ 処分料金

- ・・・ 運搬距離・廃棄物の種類等により異なるので、見積による。
- ・・・ 距離・量などにより異なるため、見積による。
- ・・・ 廃棄物の種類等により異なる。
- ・・・ 別途見積りによる。

(1)環境負荷の状況

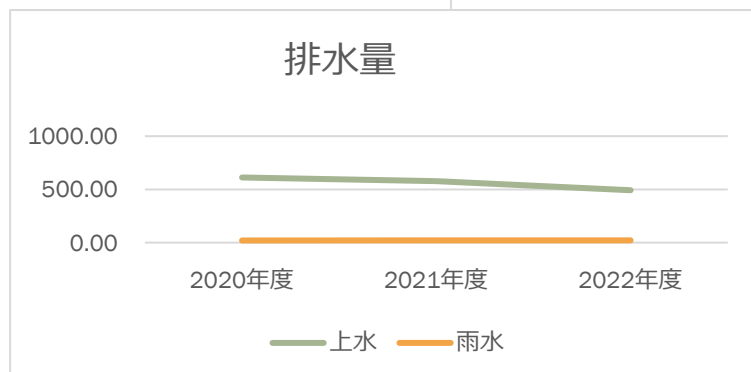
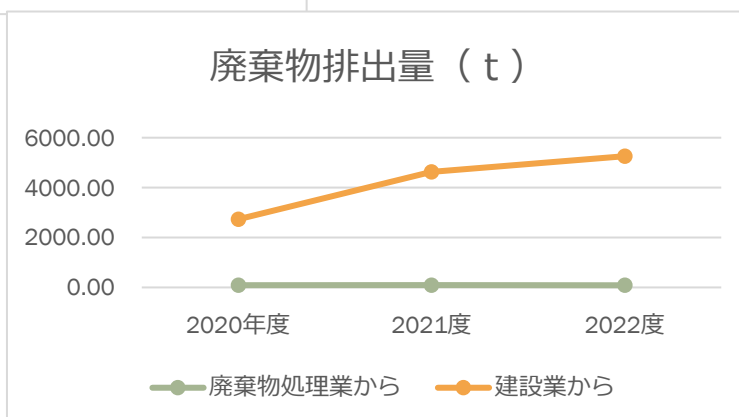
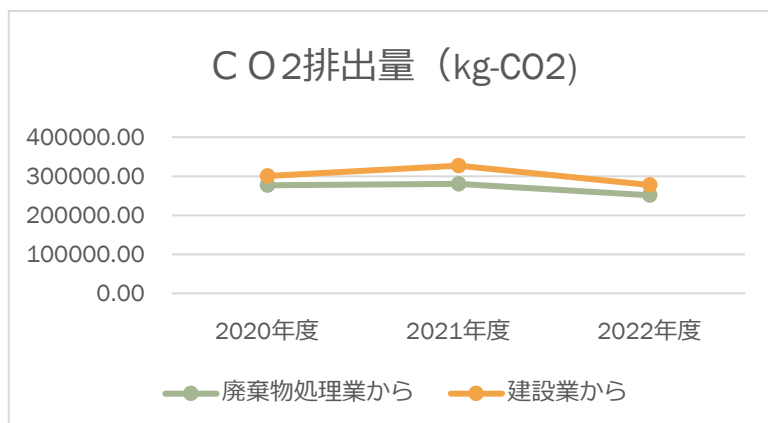
当社の事業活動に伴う過去3年間の環境負荷の状況は、以下の通りである。

年 度	単 位	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	300,467.70	326,991.24	277,475.09
購入電力量	kg-CO2	14,765.41	13,569.97	13,791.79
軽油・ガソリン	kg-CO2	261,394.47	265,880.46	236,435.41
収集運搬(1tあたり)	kg-CO2/t	24.22	21.74	21.46
建設業(百万円あたり)	kg-CO2	23,372.22	46,571.58	26,377.64
建設業(百万円あたり)	kg-CO2/百万円	123.67	164.56	95.23
その他化石燃料	kg-CO2	935.61	969.21	870.27
廃棄物排出量	t	2,732.09	4,626.24	5,258.16
一般廃棄物	t	1.23	1.26	1.29
産業廃棄物	t	2,730.86	4,624.98	5,256.87
総排水量	m ³	632.00	596.50	513.00

※ 軽油・ガソリンは収集運搬量で数値が変わるので、収集運搬量(kg-CO2/t)に対しての数値と実質数値の両方で比較することとする。

※ 2022年度購入電力量に対する調整後排出係数(0.0000545-CO2/kwh)は2022年度のものを適用している。

※ 産業廃棄物排出量には当社にて中間処理し処分場に排出した物も含まれる。



(2) 中期環境目標

① 燃費の向上と二酸化炭素排出量の削減

収集運搬車の燃費を管理し、燃費の向上を目標とする。

車両ごとの走行距離と燃料の使用量を把握する。

初年度は塵芥車の管理から始める。

② 廃棄物のリサイクル率の向上

解体からの廃棄物のリサイクル率は最終処分の比率が増加している為90%以上、中間処理のリサイクル率は95%以上を目標とする。

③ 水使用量

上水利用は2010年度～2019年度平均値より+10%以内

雨水利用を2016年度実績から毎年3%づつの増加を目指す。

④ 会社周辺及び美化活動に取り組む。

毎月平日の最終営業日に会社周辺の清掃活動を行なう。

2022年度塵芥車の平均燃費

塵芥車の種類		走行距離合計(km)	給油量(L)	燃費(km/L)	平均(km/L)
5313	2t	1,135	226	5.02	4.52
9702	2t	28,375	5431.71	5.22	
8255	3t	4,297	1069.35	4.02	
533	3t	14,918	4360.65	3.42	
538	3t	18,920	3803.17	4.97	
539	3t	22,146	4126.79	5.37	
5312	3t	19,493	4528.86	4.30	
5311	4t	11,652	3154.7	3.69	
6451	4t	94	20	4.70	

燃
費
向
上

項 目	2023年度 目 標	2024年度 目 標	2025年度 目 標	単 位
塵芥車の燃費	4.6	4.65	4.7	km/L
中間処理 リサイクル率	95	95	95	%
解体排出物の リサイクル率	90	90	90	%
上水の利用	768.00	768.00	768.00	m ³
雨水の利用	16.55	17.00	17.50	
美化活動	12	12	12	回

(3)環境目標及び実績並びに取組結果

事務所からの廃棄物排出量は2016年度を基準として横ばいに、水使用量は上水利用をコロナウイルス対策として2010年度～2019年度平均値より+10%以内、雨水使用量を2016年度実績を基準とし毎年3%増加することを目標とした。取組結果は以下のとおりである。

項 目	基準値	2022年度 目 標	2022年度 実 績	単 位	取組結果
二酸化炭素排出量	556.25	556.25	357.11	kg-CO2/百万円	○
購入電力	20,877.94	20,877.94	13,791.78	kg-CO2	○
ガソリン・軽油 ・ 収集運搬 （1tあたり）	21.58	21.58	21.46	kg-CO2/t	○
・ 解体（百万円 あたり）	344.87	344.87	95.23	kg-CO2/百万円	○
灯油・ガス	1,507.65	1,507.65	870.27	kg-CO2	○
廃棄物排出量	—	—	5,258.16	t	—
一廃 リサイクル	0.79	0.79	0.81	t	—
焼却・最終処分	0.49	0.49	0.47	t	
リサイクル率	62.00	62.00	63.00	%	
産廃 解体	—	—	5,171.17	t	×
リサイクル率	95.00	95.00	93.50	%	
中間処理	—	—	87.41	t	○
リサイクル率	90.00	90.00	99.00	%	○
上水使用量	768.00	768.00	492.00	m ³	○
雨水使用量	14.40	16.55	21.00	m ³	○
美化活動	12.00	12.00	12.00	回	○

※ 2022年度購入電力量に対する排出係数は2022年度調整後排出係数(0.000545t-CO2/kwh)を適用している。

※ 軽油・ガソリンは収集運搬量で数値が変わるので、収集運搬量(kg-CO2/t)に対しての数値と解体百万円当たりの排出量で比較することとする。

2022年度の取り組み(1)

缶の選別圧縮機を更新した



清掃活動の様子



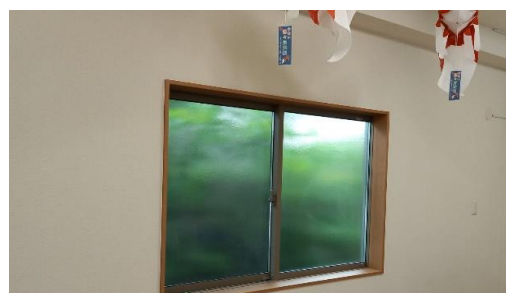
2022年度の取り組み(2)



柳井市主催の塵芥車安全作業実習講座へ参加(一般廃棄物収集担当者6名参加)
2022.1.20(金)

事務所のリフォーム

窓を小さく



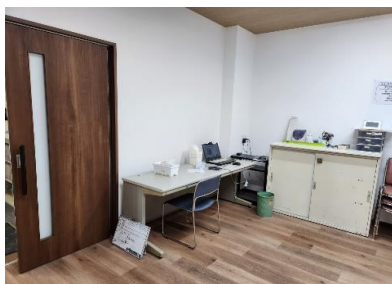
窓を無くし壁へ



応接室



ミーティングルーム



書庫



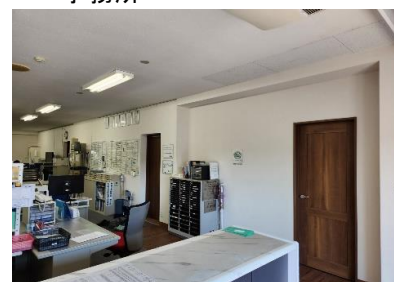
休憩室



事務所



事務所



(4) 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価

項目	環境活動計画	目標	実績	取組結果	取り組みの評価
二酸化炭素排出量の削減	電気エネルギー量の削減 ・室内空調は、夏季は28℃±1℃、冬季は20℃±1℃の設定とする。 ・OA機器は使用時以外電源を切る。 ・休憩室・トイレ等の照明は、使用時以外は消灯する。	20877.94 kg-CO2	13791.78 kg-CO2	○	猛暑により夏場のエアコン等の使用が増加したが、1年を通しての使用量は前年より減少している。今年度、電力会社の排出係数が大きくなった為CO2排出量は増加している。 エアコンの設定温度は気温を確認しながら変動させている。また、エアコンは定期的にクリーニングしフィルターも清掃するよう心掛けている。
		29954.00 kwh	25306.00 kwh	○	
	化石燃料の削減 軽油・ガソリンの削減 ・全車エコドライブの実施 ・車両の入替の場合は、低公害車に順次変更する。	収集運搬1t当りの排出量 21.58 kg-CO2/t	収集運搬1t当りの排出量 21.46 kg-CO2/t	○	収集運搬については最適なルートを選択し、エコドライブを心掛けている。
		解体百万円当りの排出量 344.87 kg-CO2/百万円	解体百万円当りの排出量 95.23 kg-CO2/百万円	○	
	ガス使用量の削減 ・必要以外はこまめに切る。	302.58 kg-CO2	212.91 kg-CO2	○	1年を通して目標は達成できている。
	灯油使用量の削減 ・ストーブ等の暖房機器は必要時以外は消す。	1303.28 kg-CO2	657.36 kg-CO2	○	石油ストーブは消し忘れに注意して安全に使用できている。
廃棄物の削減	・産業廃棄物は分別を徹底し、リサイクル化に努める。 ・事務所廃棄物は分別、減量化、再資源化に努める。	解体リサイクル率 95%	解体リサイクル率 93.44%	×	解体工事で排出された廃棄物は全て分別リサイクルし再資源化に努めている。サイディングやスレート等埋立処分の物が多くなっている為リサイクル率が下がっている。
		事務所廃棄物総合計 1.39t	事務所廃棄物総合計 1.28	○	可燃ごみ以外のものは全てリサイクルできている。
上水削減	・蛇口の閉め忘れのないようにする。 ・必要以上に水を使用しないよう、節水に努める。 ・車の洗車や清掃をする場合は、手元で開閉できるノズルを使用する。	上水 768㎡	上水 492㎡	○	事業所全体で節水の取り組みができている。
		雨水 15.6㎡	雨水 21㎡	○	缶・ビン選別後の機械・選別場の清掃には、雨水を優先的に使用できている。
紙削減	・可能な限りメールによるコミュニケーションにより紙の使用量を最小限とする。 ・可能なものは、両面コピーを基本とする。 ・資料・契約書等の1ページ化。 ・毎月1回紙使用量を確認する。	メールによるコミュニケーションは着実に増加している。引き続き取り組んでいきたい。 ミスコピーや通知FAXなどは廃棄せず、裏紙やメモ用紙として使用している。			
地域の美化活動	・会社周辺の清掃活動を行う。 ・排水枡の清掃(年2回)	業務が早く終了した時等は、自発的に会社周辺の清掃を行っている。 月1回の会社周辺の美化活動にも取り組むことができた。 定期的に排水枡の清掃を行っている。			

(5) 来年度の環境活動計画

長く取り組んできた削減目標は終了し、CO2の排出に大きな割合を占める車両の燃料の効率化(燃費の向上)を、今後の大きな課題とする。
 まずは、塵芥車から管理を始める。
 電気・ガス・灯油・他排出量は排出量を記録する。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

今年度、環境関連法規への違反、訴訟等は無かった。

全体の評価と見直し

※事務所のリフォームを行った。
事務所スペースを完全に仕切り、片側は大きな窓を小さく、もう片側の窓を無くし壁にしたことで、冷暖房の効率化を期待している。
床もカーペットに張り替え、冬場の底冷えを解消できることを期待する。
また、倉庫・書庫・応接室・ミーティングルーム等用途に合わせて仕切ったことで、使いやすい事務所になった。

※今年度、缶の選別・圧縮機を新しいものに更新した。近年、故障や修理が多くなっており、更新したことで作業の効率化が期待できる。

※化石燃料の高騰などあり、今回から平均燃費を管理するようになった。
来年度、少しでも燃費が向上できるように努力していく。

代表取締役 逢坂 日出夫